特別
イ 4
3163
210

貴
14
3163
210

上知田邸
拾壹立印考

圖もる処の意馬心猿ハ經意を以て
猶らる又是教の捷徑なり實ハ散乱
たる意の駒ハ六塵の境ハ走り貪欲の
心の猿ハ五濁の枝ハ飛あるて東朝暮
盡夜止と云ふ。七の止と云迷いと云て
意馬ハ手綱を固むる事なく常ハ心猿を苦懲し
金言妙句の縄を以て法性の柱ハ繋げ一切世話
やつゝ古人乃筆跡寔ハ形を作りて志めす
マヽハ婦女子も道理を悟ることかゝを種ハ綴出き
マヽが歳々め九三双紙も教訓のいろはハ倣んが為の

人久第三
天文孟春

為永春水識

星若丸
捐摸次郎正時
乞食
新参の
小猿

妖婦曙羽剣羽

猿

春水作
國貞画

夢

春日水作國貞

明治八年上和田屋

渡了勅

渡部勅

十二月

渡部勅